

●円山動物園ホッキョクグマの双子の性別について

昨年12月9日に誕生したホッキョクグマの双子の赤ちゃんの性別が、身体測定時の複数の職員による視診と体毛を用いた2度にわたるDNA雌雄判定により、2頭ともに雄と判明しました。

今回のDNA雌雄判定は、平成15年生まれの「ツヨシ」、平成17年生まれの「ピリカ」の性別を、外観のみの確認により誤って判定してしまった経験を踏まえ、慎重にかつ科学的に検証を重ねるために導入したもの。実施に当たっては、以前から円山動物園と共同研究を実施している北海道大学獣医学研究科からの多大な協力を得ています。

今後は、体格等に個体差が出てくるとされる夏以降に2頭の愛称を決定する予定です。また、成長後の動向については、国内外の動物園との血液更新^{*}も視野に入れて検討していきます。

※ 近親交配による障害を防ぐため、園外から別の系統の動物を導入すること。

1 出生日時

平成20年12月9日（火）午後10時50分ごろ

2 性別

2頭ともに雄

3 体格

A個体：体長約100cm、体重約23kg

B個体：体長約100cm、体重約24kg

※平成21年4月21日測定時

4 円山動物園の飼育・繁殖状況

(1) 飼育個体

ララ（メス14歳）、さつき（メス17歳）

(2) 繁殖実績（ララ）

平成15年12月11日 ツヨシ（雌）出産。平成17年1月に釧路市動物園へ転出。

平成17年12月15日 ピリカ（雌）出産。平成19年2月におびひろ動物園へ転出。

5 ホッキョクグマの現状

ホッキョクグマは、地球温暖化等の影響を受け平成18年に国際保護連合（IUCN）により絶滅危惧種に指定されました。

今回の双子は絶滅危惧種指定後、日本で無事に成育した初めての赤ちゃんとなります。

世界の動物園では、平成17年現在で160施設360頭が飼育されており、世界的に飼育頭数の減少が加速しています。日本では、平成19年現在24施設49頭が飼育されています。



問い合わせ先

環境局円山動物園飼育展示課 上野・山本

電話：621-1426